

小さい所は
置いてけ
ぼりか

合併への不安の思いを みぞぐち仁

日本共産党



に託して下さい

「こんなはずじゃなかった…」

- 合併でカットされた
住民サービス
- ▼6歳誕生日まで医療費の窓口
無料(一部負担200円)
⇒月1000円まで自己負担、
3歳以上は後で返還
 - ▼小学校の補助教員配置
⇒廃止
 - ▼出産一時金36万円
⇒30万円
 - ▼幼稚園保育料月3000円
⇒月3500円
 - ▼無料の健康診断基本検査
⇒1300円
 - ▼配食サービスの負担250円
⇒300円

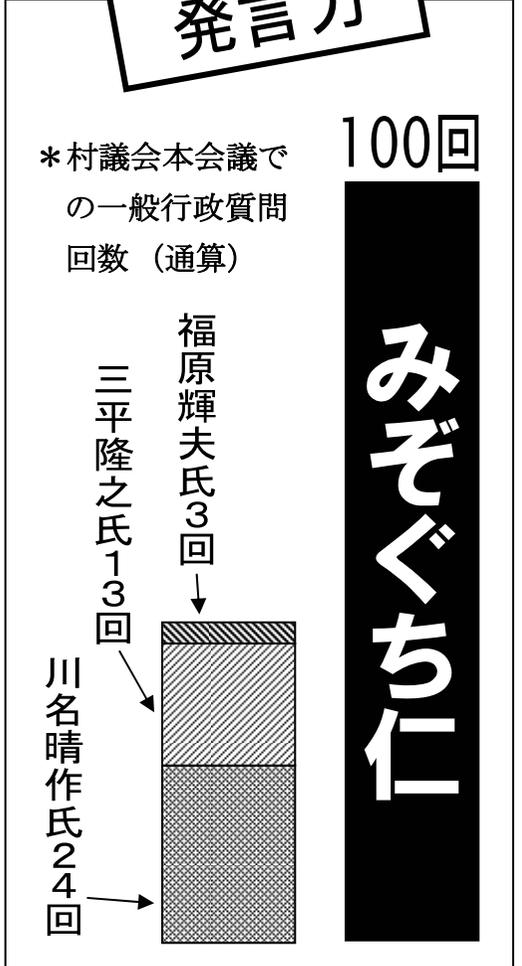
押しつけ合併で、「負担は重
く、サービスは低く」にならな
いかと批判してきたのは、み
ぞぐち前村議だけ。みなさ
んと力を合わせ、新しい市議
会で「サ
ービスを
元に戻
せ」と訴
えます。



三芳の良さを守るため

今度ばかりはみぞぐち仁へ

ダントツの 発言力



ばつぐんの 実績・成果

- ◎三芳が誇る数々の子育て支援策
- ◎防犯灯の電気代全額補助
- ◎小規模土地改良事業を5割補助
- ◎役場前交差点の安全対策
- ◎三芳トンネルの水漏れや照明の改善
- ◎高齢者のインフルエンザ予防注射への補助
- ◎“お風呂”の設置と送迎バスの運行
- ◎村独自の大学生への奨学金
- ◎学童保育の実施



今まで興味がなかったけど、みぞぐちさんの活動を見て、すばらしいと思いました(府中・20代女性)

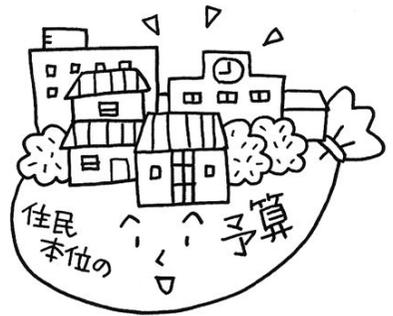
三芳の将来がかかっています。これまでのし
がらみを越えて、みなさんのご支持をお願い
します。ぜひ、ご家族でお話し合ってください。

なぜなら

「合併したから」とあきらめる事はありません

三芳の良さは取り戻せます

■他市では当たり前前の「J」です



「切り下げられた三芳独自のサービスを元に戻せ」
—この願いは、当たり前前のものです。
小学校入学までの医療費無料化は、長生村や睦沢町などの小さな自治体でも実施しています。小学校への補助教員配置なども、取り入れている自治体が次々。「小さい町にできて、合併した新市ができないのはおかしい」という声を広げましょう。

■三芳の住民には力があります

約20年前に突然持ち上がったゴルフ場建設の計画をストップさせ、三芳の豊かな環境を守ったのは、三芳の住民の力でした。

みぞぐち前村議も、「三芳村民報」でゴルフ場の農業汚染の危険を知らせ、議会で15回も追及しました。住民の力とみぞぐち前村議の議会活動が一つになれば、「鬼に金棒」です。



■しっかり発言、きちつと報告

日本共産党 **みぞぐち仁** 前村議がいます



25歳で村議に——
三芳の良さを知りぬいている人

25歳で初当選したみぞぐち前村議。静岡大学園芸学科を卒業し、野菜作りをはじめて2年のとき。自民党政治では農業も暮らしもよくならないと挑戦しました。以来25年、三芳の歴史とともに歩んできました。三芳のことなら隅々まで知り尽くしている人です。



みなさんと力を合わせて、
重い扉をこじ開ける人

三芳から新市の議会に出せるのは3人。議会できれ合ったり、まともに発言できない人では困ります。みぞぐち前村議は、住民と力を合わせ、粘り強く発言し続ける人。スジを通します。

「これからも南房総市の様子を『三芳民報』で知らせてほしい」
(保守系の前三芳村議)

新市に三芳の声を届けるためには、市政と住民を太く結びつけることができる議員が、どうしても必要です。